

3 月 度 個 人 山 行 報 告 書			報告者	芦田直之	参 加 メ ン バ ー	CL 藤田健、SL 田中、不 破、岡田、金子、町田、 亀山、板倉、中山、芦田
			報告日	4/22		
山 域	鈴鹿山系	山 行 日	04/3/21		コースタイム（天候：天気図記号）	
山 名	霊仙山					
山行目的	春山登山					

配布先	4
集会:12	
山行:1 リーダー	
原紙:集会 担当者	

		<p>9:00 醒ヶ井養鱒場</p> <p>12:00 お虎ヶ池</p> <p>12:40 霊仙岳</p> <p>14:30 醒ヶ井養鱒場</p>
--	--	---

山行報告 醒ヶ井養鱒場から、登山口まで車で登っていく。すでに天候に恵まれたため多くの登山客が来ているようである。とまっていた車は 15 台ほどだったろうか。登山口には杖が用意しており、これを借りて、樽ヶ畑に入る。ここは廃村で、あばら家もあれば苔むした石垣だけになっているものもある。しばらく雑木林の中を小川に沿って上がっていく。小屋があり、缶ジュース類が売られている。ここを右に曲がり、汗拭き峠まで急登。前日の雨のせいか、道は泥だらけ。峠を左に折れてさらに登ると、笹とぼつぼつ石灰岩のある、高原のような場所になる。近江展望台では琵琶湖がよく見える。経塚山で中山家と合流する。ここからは霊仙がよく見渡せる。その斜面には雪があり、ざくざくと登る。お虎ヶ池を過ぎ、頂上に着き乾杯。ややかすんでいるが、伊吹山、奥美濃や琵琶湖周辺の山々が見える。帰りは、だれが言い出したか、雪深いほうの斜面を半ば滑りながら下りていく。途中、ぼつぼつと咲く福寿草をめぐる。その後バキバキと音をさせながら、背丈ほどもある乾いた笹の中をやぶこぎしていくことに。ここで金子さんがメガネをなくす。搜索するも見つからず。来た道に出たところで来た道を下っていく。下山後、伊吹町の公共浴場に入り汗を流して帰途に着く。

		フリースペース
確認 (リーダー)		
作成 (報告者)	<p>リーダー所見</p> <p>SL 田中和恵さん担当で天候に恵まれたいい霊仙岳山行となった。</p> <p>初入山した 30 年前当時すでに樽ヶ畑には人は無かったが改めて時代の流れと登山者の多さに歳月を感じるものがある。田中さんは最初で最後の S L 経験となるが記憶に残ってくれば幸いです。</p>	
芦田 04/4/22		